

「こどもちゃれんじ教室」の開催 ～遊々の森「生き生き学びの森」～

10月24日（土曜日）、三重県伊賀市の焼尾国有林内に設置した「遊々の森」で、伊賀市教育委員会と連携し「こどもちゃれんじ教室」を開催しました。

当日は、地域の幼児から小学校5年生までの子どもたち10名が集まりました。

まず、森林が生い茂る山とそうでない山に雨が降ったとき生じる現象の比較を模型を用いて実験しました。周辺で採取した草を森林にたとえ表土へ植え付けしたものとし、ないものを準備し、草が生えていない土の斜面にジョウロで水をかけるとたちまち表土が流れ崩れる様子を観察し、森林の持つ保水機能と土砂災害防止機能の大切さを学びました。

次に、遊々の森である国有林内の散策を行いました。

子どもたちは、樹木の名前や木は生活に欠かせない大切なものであることを学びました。また、ドングリを見つけて、早く芽を出し大きな樹となるよう思いを込めて林内に植え付けをしました。

最後に、木ノ実や木の枝などを使って木工工作を作りました。

アカマツの球果やクヌギやコナラの実などを巧みに使い世界に一つの作品を仕上げ、満足そうに持ち帰りました。

こどもちゃれんじ教室を通じて自然や森林の大切さを熱心に学びました。

